

# 1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

		平成14年度助成金		平成15年度助成金 (計画)
共同助成事業 (P.N. ファンド)	(国内)			
	活動助成	10件	6,220	
	調査研究助成	9件	8,880	
	(海外)			
	調査研究助成	5件	5,750	
	小 計	24件	20,850	22,000
自主助成事業	(国内)			
	活動助成	5件	5,500	
	調査研究助成	1件	3,500	
	(海外)			
	調査研究助成	3件	1,900	
	小 計	9件	10,900	24,000
	合 計	33件	31,750	46,000

2. 平成14年度(2002年)第13期助成金交付一覧

単位：千円

国内調査研究助成				
No.	研究テーマ	助成先	代表者	助成額
1	中部空港島周辺における底質・底生生物を中心とした水域環境変化に関する研究	空港島周辺海域環境研究会	西條 八東 (名古屋大学 名誉教授)	1,000
2	父島のオガサワラオオコウモリの保全生態学的研究	オガサワラオオコウモリ研究グループ	稲葉 慎 (特定非営利活動法人 小笠原自然文化研究所)	1,000
3	北方四島(国後島)の生態系-陸上動植物相調査-	特定非営利活動法人 北の海の動物センター	大泰司 紀之 (北海道大学大学院 獣医学研究科 教授)	2,000
4	えびの高原におけるシカの行動様式の変化について-餌付けがシカに与える影響-	えびのシカリサーチグループ	遠藤 晃 (科学技術振興事業団)	880
5	在来マルハナバチ類保護のためのセイヨウオオマルハナバチの野生化状況の評価と駆除方法の開発	セイヨウオオマルハナバチ野生化問題研究グループ	横山 潤 (東北大学大学院 生命科学研究科 助手)	850
6	島原半島における淡水紅藻オキチモズクの保全と遺伝子解析	オキチモズク保全研究グループ	飯間 雅文 (長崎大学 環境科学部 助教授)	950
7	世界最南限のイワナ個体群“キリクチ”の保全生態学的研究	淡水生物研究会	渡辺 勝敏 (奈良女子大学 理学部 助教授)	700
8	イワメ(無斑型アマゴ)の生息環境と保護	西日本淡水魚類研究会	近藤 卓哉 (九州大学 農学部 生物資源研究科)	800
9	淡路島の農村地域のため池群における生物多様性保全に関する研究	淡路棚田研究会生物多様性研究グループ	小野 有正 (旭路工業大学 自然・環境科学研究所 助教)	700
※	「第2回ありあけ大調査-研究者と漁民による冬季赤潮発生メカニズムの解明-」	(財)日本自然保護基金	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長	3,500
小計			10件	12,380

国内活動助成				
No.	研究テーマ	所属機関	代表者	助成額
1	東京湾の干潟を中心とする環境の保全	千葉の干潟を守る会	大浜 清	1,000
2	干潟を守る日2003 in 諫早	干潟を守る日2003 in 諫早実行委員会	山下 八千代 (諫早干潟緊急救済本部 代表)	500
3	吉野川河口干潟周辺における「人と自然とのふれあい」をベースにした環境マップの作成	とくしま自然観察の会	井口 利枝子	750
4	日本における[自然の権利]運動の記録(〜2002.12)	[自然の権利]セミナー	佐久間 淳子	1,000
5	エゾシカ猟用鉛弾を原因とするワシ類の鉛中毒に対する防止活動	市民団体 ワシ類鉛中毒ネットワーク	黒澤 信徳 (釧路地区農業共済組合 弟子屈支所 畜産診療科)	570
6	希少植物「カワラノギク」の保護・育成	はむら自然友の会	岡崎 学 (中野区文化・スポーツ振興公社)	140
7	霧ヶ峰の草原生態系と景観の保全のためのシンポジウム開催と報告書の作成・活用	霧ヶ峰ネットワーク	黒原 雅博 (工業大学 自然科学研究科 博士後期学生)	970
8	チゴハヤブサの調査保護と子供たちへの環境教育活動	札幌チゴハヤブサの会	東郷 典彰 (北海道庁 主査)	440
9	大規模開発の迫った京阪奈丘陵の里山での市民による生き物調査の実施	生駒の自然を愛する会	琢磨 千恵子	200
10	市民版日高横断道路「時のアセス」の作成	「止めよう日高横断道路」全国連絡会 常任委員会 調査部	小島 望	650
※	(1) 白保海域におけるサンゴ礁モニタリング調査 (2) 南西諸島の生物多様性に関する調査 (3) 北方4島における自然保護活動支援	(財)世界自然保護基金	大内 照之 (財)世界自然保護基金 会長	2,500
※	沖縄地域の自然保護問題への対応	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿 (財)日本自然保護協会 理事長	2,000
※	国際山岳年・国際エコツーリズム年記念 山岳エコツーリズムフェスティバル in 北海道2002	山岳エコツーリズムフェスティバル in 北海道2002 実行委員会	小野 有正 (北海道大学 地球環境科学研究科 教授)	1,000
小計			15件	11,720

海外調査研究助成				
No.	研究テーマ	所属機関	代表者・[]内推薦者	助成額
1	インドネシア・西ジャワ海及びナツナ海における絶滅に瀕したタイマイ繁殖個体群の現状の把握とその資源回復対策の確立	インドネシアウミガメ研究センター【インドネシア】	Mr. A. Yusuf [亀崎直樹 日本ウミガメ協議会 会長]	1,190
2	中国海南島における野生哺乳類の保護区設定と保護システムの確立	中国海南師範学院 海南野生動物保護管理研究センター【中国】	李玉春 [小金澤正昭 宇都宮大学農学部附属演習林 教授]	910
3	ネパールシワリク山地の生態学的研究：動的景相域における生物種維持管理	リソース・ヒマラヤ【ネパール】	Dr. D. R. Bhujju [尾崎雄雄 千葉県立中央博物館 研究員]	1,200
4	低地熱帯林の生態系指標としてのカワリクマタカ (Spizaetus cirrhatus) に関する調査-スンバウ島、コモド島、フロレス島に生息する亜種を対象として-	YPAL (原生自然保護協会)【インドネシア】	Mr. W. Raharjaningtrah [乾由布子 (財)日本野鳥の会]	1,300
5	石門台(シメンタイ) 国立自然保護区におけるチョウ類のモニタリング	華南農業大学 昆虫生態学教室【中国】	王敏 [矢田脩 九州大学大学院 教授]	1,150
※	ベトナムでのジュゴンと藻場保護	WWFインドシナ【ベトナム】	Eric Coull [小森繁樹 (財)世界自然保護基金]	700
※	ロシア沿海地方の先住民NPOに対する支援協力	FoE Japan【ロシア】	岡崎 時春 (FoE Japan 代表理事)	500
※	シホテ-アリニ山脈の自然とウデへの文化をテーマとして、日本の小学校の教材として使用される副読本の製作	FoE Japan【ロシア】	岡崎 時春 (FoE Japan 代表理事)	700
小計			8件	7,650

<b>助成金総額</b>	<b>合計</b>	<b>33件</b>	<b>31,750</b>
--------------	-----------	------------	---------------

(P. N. ファンド助成金額)	20,850
(直接助成金額)	10,900

注：(※) 当基金の自主助成事業